

国境を超えた、交流。

事業活動において深いかかわりのある中東や東南アジア諸国の

持続的発展の一助となることを願い、また、友好関係を深めるために、

技術協力や人材交流、文化交流を行っています。



海外協力活動

政府機関や海外の企業と連携して、さまざまな開発調査プロジェクトや省エネルギーモデル事業などを推進するとともに、技術やノウハウの移転のため、人材交流を継続的に行っていきます。また、国境を超えた教育について考える国際カンファレンス「アブダビ(UAE)：Philosophy “education2003”」にも協力しました。



イェメンでの研修会の様子



研究所での実習風景



堺製油所での研修



千葉製油所での研修風景

- UAE石油精製設備での環境保全技術調査と、資源・環境保全技術検討の実施
- イラン石油精製設備での環境保全技術調査の実施
- インドネシア国営石油公社での省エネルギーモデル事業の実施
- オマーン国営石油での製油所調査と、排水処理改善事業の実施

産油国アブダビでの活動

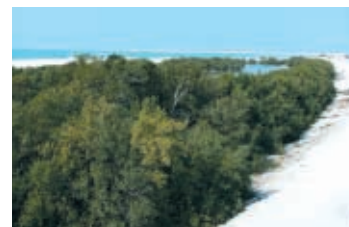
コスモ石油の子会社であるアブダビ石油や、日本アラブ首長国連邦協会を通じて、1960年代から今日まで長年にならって事業活動を超えた、人材交流、技術提供、文化交流などを幅広く行っています。

●アブダビ石油における安全・安定操業

アブダビで石油開発事業を行っているアブダビ石油では、安全で健康な職場づくりに努めています。アブダビ石油の安全・環境に対する取り組みは、アブダビ政府からも高く評価され、さまざまな賞を受賞しています。

●マングローブの植林をはじめとする地域の緑化推進

アブダビ石油は、アブダビ市街にある現地事務所の敷地内に植樹したり、ムバラス島にマングローブを植林したりするなど、地域の緑化を積極的に進めています。2003年度からは、現地事務所の敷地内に桜の苗木を植林する新しい試みも始めています。



ムバラス島のマングローブ林



アブダビ現地事務所



裏庭の場沿いに桜を植樹

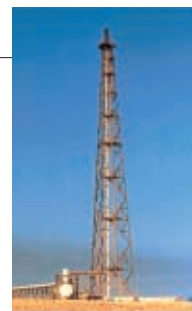
技術・人材交流を促進することで、 環境負荷の低減にも努めています。

ゼロフレアプロジェクトの効果

●年間20万トンの二酸化炭素を削減

原油を生産する時に一緒に生産される有害ガスを大気中で燃やすのではなく、もとあった地中に再び戻そうというのが、ゼロフレアプロジェクトです。コスモ石油の子会社であるアブダビ石油とその関連会社が運営する3つの油田では、油井の塔から燃えさかる炎(フレア)が消え、大気汚染の防止に貢献しています。

このプロジェクトによって、年間20万トンの二酸化炭素に相当する温室効果ガスを削減しています。これは、東京ドーム約12,000個分の森林が吸収する二酸化炭素の量に匹敵します。



ゼロフレアプロジェクト実施後



ゼロフレアの第一段階であるサワーガス圧入プロジェクトは、アブダビ国営石油会社(ADNOC)から高い評価を受け、2000年度の「ADNOC HSE AWARD」では、参加申請62件中最高位の「最高賞」を受賞しました。

ゼロフレアプロジェクトは、アブダビ政府からも高い評価を受け、2000年度は安全操業や環境保全に対して授与される最高賞を受賞しています。